

# 株式会社かがやくコスメ



厳選した素材を使用した化粧品「ビエナス」



(左より)  
企画業務部 業務管理課 人事総務チーム 主任 川島 毅 様  
企画業務部 業務管理課 システムチーム 金丸 孝子 様  
経営戦略室 企画担当 兼 企画業務部 業務管理課 法務リスク管理チーム 佐野 聖奈 様  
企画業務部 部長 兼 大阪事業所長 阿部 聡 様

## 会社概要

- 本社所在地:〒104-6591 東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー7階
- 従業員数:90名
- 事業内容:化粧品製品・洗剤等トイレットリーの開発企画・販売
- URL:<https://www.kagayaku-cosmetics.com/>

者は、スケジューラーを見てもらわない限り、休みと思われかねない心理的不安がありました。それが解消されました。従業員90名のうち14名が在宅勤務者だったので、毎日誰かがテレワークを行っているような状況でしたが、常に風船が目に入ること社員への周知や意識付けが進みました。トライアルの段階で多数の実施者による検証ができたことも、本格導入に向けて良い知見が得られたと感じています。

## 優秀な人材が遠方に住んでも変わらずに働ける制度作りへ

今回は週1~2回と限定しましたが、将来的には地方に住む家族の介護等にも対応できるよう、1週間単位のテレワークができるようにする等フレキシブルに展開していきたいと考えています。また、テレワークは離職率の改善にも大きく作用する施策と捉えています。当社は女性の社員比率が6割と高いのですが、結婚や出産による離職はほぼゼロで、復職率は100%です。ただパートナーの転勤等により、辞めざるを得ないこともあります。社員の能力が業績に直

結すると考える当社にとって、優秀な人材は非常に大切な存在です。遠方に住んでも、変わらずに業務ができる制度を作ることは今後も重点的に取り組む必要があると考えています。

## モデル実証を終えて

## 社員一人ひとりが効率化を模索 コミュニケーションがより丁寧に

これまでの働き方との変化に戸惑い、初めは効率良くできなかった社員もいました。しかし、慣れるに従いツールの活用法や段取りを各々で工夫するようになり、これまでのやり方に捉われずに取り組む前向きな姿勢が職場全体に広がりました。また、自分の周囲がどのような仕事をしているのか理解を深めることで、助け合いの精神も強固に育まれていきました。これまで以上にしっかりコミュニケーションを取るようになり、職場内における報告や連絡がとても丁寧になったと感じています。2019年度内に本格導入予定ですが、それに促されることなく、早くスタートできるところから実働させたいと思っています。

卸売業・小売業

経営課題

# 生産性向上による企画力アップと人材確保

## テレワークで作業効率アップ、より創造的な業務へ社員全員で取り組む働き方改革

### 社員の成長が業績に直結すると考え 働き方改革のチームを結成

当社は全国の生活協同組合及び郵便局が扱うカタログを中心とした化粧品の企画販売を展開しています。重きを置いているのは商品の企画やマーケティングです。社員一人ひとりの創造性や能力が会社の業績に直結すると考えています。そのため2018年3月に働き方改革を推進するプロジェクトチームを立ち上げ、システムや法務、マーケティング等、各部署から集まったメンバーが、全社的に成果を出しやすい環境作りと会社の制度の見直しを検討しています。プロジェクトチームが全体の軸となっていますが、社員アンケートで出たアイデアを基に、健康促進イベントの開催や会議室のインテリア改善といった各プロジェクトいずれかに全社員が属し、一丸となって働き方改革に取り組んでいます。そのうちのひとつがテレワークです。そこで、より最先端の情報を得るため、モデル実証事業に参加しました。

### 全社員を対象とする前提で あらゆる部署・家庭事情から選定

モデル実証事業では2か月間、育児中・介護中、単身者等、

様々なケースの社員を各部署から計14名選定し、週に1~2回在宅勤務を行いました。チャットツールやWeb会議等のアプリケーションもいくつか試し、実際に使ってみた感想を参考にしながら、当社のスタイルに合うものを検証しました。在宅勤務時は個人の書類作成やチェック業務等、集中して作業が進められるとの声もあり、テレワーク実施前と比較して1日でできる業務量が20%増になりました。特に、残業のできない時間の制約がある社員からは、生産性が上がる上、通勤時間を削減できると特に好評でした。

### 誰が見ても分かる目印を設置 制度の周知・浸透にも効果

実際にテレワークをやってみると対象者の周囲では「誰が在宅勤務なのか、休みなのか不明瞭」という意見が挙がりました。席にいないため休みだと思われて連絡が翌日にされてしまったり、お客様への対応がすぐにできなかつたりしたことは問題でした。急ぎの対応策として、アナログですが誰にでも分かるように風船の目印を作成しました。これを在宅勤務者のデスクに設置すると、思った以上の効果を発揮しました。在宅勤務

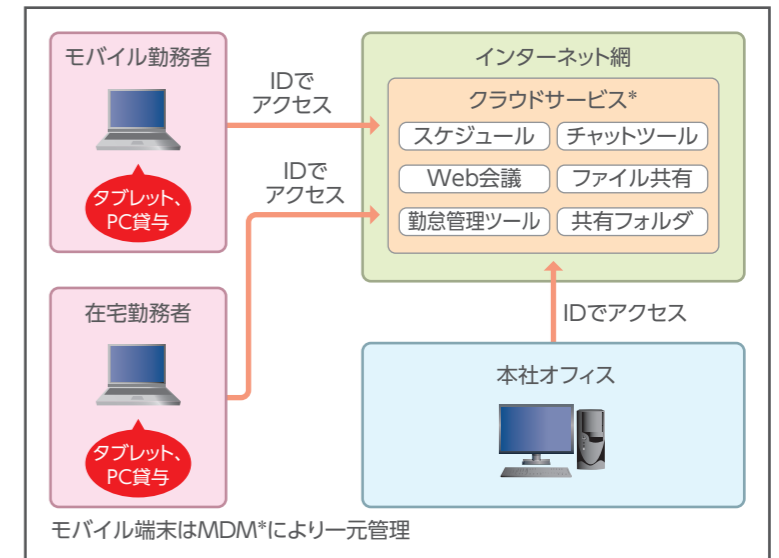


在宅勤務中であることをわかりやすく周知

## 解決ポイント



在宅勤務を行う市島 佳奈子 様



## 経営課題

- 業績に直結する社員の企画力を向上させる
- 優秀な人材が長く働ける環境を整える

## 導入概要

- 全部署から育児中・介護中の社員、単身者等、様々な条件の14名を選定
- 週に1~2回、貸与したノートパソコンからVPN\*で社内サーバーにアクセス、またはクラウドサービス\*を活用
- 在宅勤務を実施していることが全社員に分かるように風船の目印を設置

## 導入効果

- 集中力が高まり、書類作成やチェック業務等の生産性向上を実感
- 業務効率化に対する社員の意欲が向上

## ADVICE

コンサルタントからのアドバイス



モデル実証事業では、使用ツールの感想を共有し、テレワークを行うために各自が工夫しながら業務を進めました。チャットツールやWeb会議が有用なことが実感でき、検証してみて分かったことも多かったと思います。社内テレワークを推進する際、使用するツールに悩むこともあると思いますが、まずはトライアルした上で、検証しながら自社に合ったツール・サービスの選定や活用方法を見出ししていくことがポイントです。

注釈(\*)の用語解説はP57をご覧ください。